

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300690
法人名	医療法人 三善会
事業所名	丸の内はとぼっぼ
所在地	宇和島市丸之内1-4-7
自己評価作成日	平成21年7月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

(白鳩) 職員主導ではなく、入居者の方中心の生活をさせていただけるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

毎日、お隣の神社の掃除やお参りをされたり、おやつや長年使用している化粧品を買いに出かけることもある。又、お一人で図書館に出かけ、読みたい本を借りたり返却される方もいる。椿神社のお祭りに、体調のいい時には毎年出かけている方がおり、入居後も職員が同行されている
ユニットによっては、じゃんけんや勝った利用者から、入浴の順番が決められるようになってきている。入浴剤を使用する際には、浴槽の底が見えるようなものを利用され、個々の体調も見ながら、負担のないようシャワーを使ったり、体を拭いたりされることもある。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

丸の内はとぽっぽ

(ユニット名)

白 鳩

記入者(管理者)

氏 名

片山 綾子

評価完了日

平成21年 7月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			リビングに「自由で楽しい生活」と張り出していつでも見ることができ共有できている。	
			(外部評価)	
			基本理念「一人ひとりその人らしく生活できるよう支援します」のもと、青鳩では「自分らしく暮らしたい」、白鳩では「自由で楽しい生活」とユニット毎に利用者が決められた理念を掲げ、日々取り組まれている。職員は、理念に沿って地域とつながりながら取り組めるよう話し合われている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			学生さんのボランティアの受け入れや、自治会への加入をして地域の一員として交流できるように努めている。	
			(外部評価)	
			事業所は、自治会の班長もされており、集まりにも出席されている。利用者は、おやつや日用品を近くの商店街に買いに行かれたり、お隣にある神社に掃除や散歩に行かれている。又、地域の2カ所の幼稚園の行事時には、園児がお花等を持ってきてくれたり、時には、園で飼っている「うさぎ」のえさを利用者として届けに行くこともある。	事業所では、今後さらに、地域の方達にグループホームや認知症について理解していただけるよう、取り組んでいきたいと考えておられる。法人内のグループホームと協力し合い、認知症サポーター研修を開催することを予定されていた。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			市役所との連携をしながら地域の人々に向けて活かしていきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2ヶ月に一度開催しており、意見を取り入れている。</p>	<p>さらに、地域の方々が会議に参加していただけるよう な工夫について話し合ってみてほしい。地域のより多 くの方々にグループホームや事業所の取組みについ て理解や協力をいただけるよう、会議を活用してい かれてほしい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議では、ボランティアの方のピアノ伴奏に 合わせて懐かしい歌を歌っておられる利用者の姿を、 出席者に見ていただいたり、地域の方にお花見等、外 出して楽しめるような場所についても教えてもらって いる。会議として、グループホーム四国フォーラムへ 利用者、ご家族、職員で出席し、その後アンケートを 取って 運営について意見をもらえるよう働きかけら れた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>宇和島市のグループホーム連絡協議会に参加してい る。</p>	<p>市の担当者とは、ケアサービスや手続きのこと等につ いて相談されている。</p>
			<p>(外部評価)</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は日中施錠はしていませんし、身体拘束の研修に 参加して知識を高めることができるように取り組んで いる。現在拘束の事実はないです。</p>	<p>身体拘束について、全ての職員が市や県GH協議会主催 の研修に出席し、勉強されている。玄関には「お出か けの際には声をかけてください」と張り紙をされて いた。</p>
			<p>(外部評価)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			虐待の研修に参加し、申し送りノート・ミーティングで情報の共有を図り努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			これらの制度についての研修に参加し必要な方に活用できるように支援していきたい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			入退居時に説明をしており、ご家族が来所時など必要に応じご理解いただけるように説明をしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			意見箱の設置をしており、ご本人・ご家族の声に耳を傾けて要望があれば取り入れていけるように努めている。	
			(外部評価)	ご家族から意見が出されることは少なく、事業所に安心して任せておられるご家族が多いようであるが、事業所が今後さらによくなっていくためにも、利用する側のご家族からの意見を引き出し、運営に反映していけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 代表者と管理者の間で月に一度会議が開催され、意見や提案を取りあげてもらえる。	
			(外部評価) 職員は、意見や提案をユニット主任に伝え、代表者、管理者、主任で行う会議で話し合われている。食欲が湧かない利用者が外出時、お弁当をおいしそうに食べていたことに職員が気づき、普段の食事も盛りつけをお弁当のように工夫され、食欲が高まったというような事例がある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 各研修への支援・労働時間の配慮をしてもらえる。個々の必要に応じてシフト変更が可能であり、休憩時間はホームより外出可能でありリフレッシュできる。	
			(外部評価) 職員が必要に応じて研修に参加でき、研修内容は回覧できる。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員が必要に応じて研修に参加でき、研修内容は回覧できる。	
			(外部評価) 県及び市のグループホーム連絡協議会に参加し、ネットワーク作りや勉強会に取り組んでいる。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 県及び市のグループホーム連絡協議会に参加し、ネットワーク作りや勉強会に取り組んでいる。	
			(外部評価) 県及び市のグループホーム連絡協議会に参加し、ネットワーク作りや勉強会に取り組んでいる。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前後にご家族を始め居宅のケアマネージャーの方などから情報を提供してもらうとともに、ご本人の声に耳を傾けるように努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族のお話に耳を傾けるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できる限りご希望を取り入れるように努め、必要とされる支援の見極めをしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ゆっくりとした生活の中で、共に過ごし、支え合えるように接していて、生活の中で助けてもらっている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族のお話に耳を傾け、無理なくご家族と共に支援していけるように努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前に利用されていた美容室・病院・スーパーなどはできる限り続けて行けるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が職員とともにご自宅に戻られた際、近所の人から声をかけていただいたことがきっかけで、地区の町内会の集まりや敬老会等に出席された。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士の関係を把握して、支えあえるような場面作りができるように努めている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	退居された後もホームに気軽にお立ち寄りいただけるような関係作りに努め、入院などの場合でも生活の中での情報をできる限り詳細にお伝えしている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	体調も考慮しながら希望や意向の把握に努めている。
			(外部評価)	
			センター方式のアセスメントシートを用いて、利用者一人ひとりの思いや暮らし方、出来ること、出来ること等の把握に努めておられる。100歳を超える利用者の日々の過ごし方についても、ご本人の様子や体調、思いを優先して支援されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	ご家族やご本人さん・知人の方より情報を収集し職員で共有している。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	センター方式の活用にてどんなに小さなことでも、記録に残しその日の心身状態に応じて生活してもらえるように努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人さんを中心として、ご家族の意見も反映できるように努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ミーティング時に、職員で気付きを出し合い、担当者が集まり介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>状況が分かるように記録に残し、共有しながら介護計画に活かしていけるように努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>遠方のご家族への支援も含め、柔軟に取り組むようにしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>美容院・スーパー・病院・郵便局・銀行・花屋などへの支援は努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できる限りかかりつけ病院に受診できるように支援し ている。(歯科・眼科など)</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人ご家族の希望に沿って、医療機関での受診を支 援されている。受診の際にはご家族が同行されてい るが、事業所で同行される場合もある。運営者である 医師が事業所によく立ち寄り、利用者個々の様子を見 てくれている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員に看護師が常勤しており、相談でき健康管理に努 めている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入退院時の情報交換及び必要に応じて、病院関係者と 連絡を取り相談し、ご本人さんやご家族が安心でき るように努めている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族との話し合いを必要に応じて何度も繰 り返しながら、方向性を決定していただけるように取 り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人ご家族の希望を大切に、重度化や終末期の支援 について、事業所で出来ること、出来ないことを話し 合い、医師と相談しながら取り組まれている。現在、 100歳を超える利用者は、皆の気配を感じることで きる居間の豊の間で、日々過ごされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年に一度救命救急講習を受講している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) ホーム内での避難訓練(年2回)行うことで避難の方法を習得できるように努めている。 (外部評価) 地域の防災訓練に利用者職員で参加された。又、事業所では、夜間を想定した避難訓練にも取り組まれた。職員は、県GH協議会の救急救命研修やAEDの講習等も受講されている。	職員は、今後さらに事業所での避難訓練の回数を増やして、利用者、職員の安全を守れるよう、取り組んでいきたいと話しておられた。又、今後もさらに地域で協力いただける方を増やしていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 全職員が言葉使いや声かけに注意して、お互いで注意しあえるように努めている。 (外部評価) 職員は、言葉使いや、声掛けの際「利用者の誇りやプライバシーを傷付けないように気を付ける」ことを心がけておられる。時には、職員同士で注意し合うこともある。調査訪問時、トイレ誘導は、小さな声でされており、利用者の行動を止めることなく支援されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 買い物やお散歩・お風呂などの自己決定できるような支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できる限りお一人・お一人のペースを大切に生活していただけるように努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その人らしい身なり・髪型・お化粧を支援していけるように努めている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 以前のように入居者の方と同じ食事を一緒に食べることになりました。食事作りはできる範囲で参加してもらい、楽しんでもらえるように努めている。	
			(外部評価) ユニットによって朝食は、利用者が役割り分担をしながら準備されており、パンを焼く人 バターを塗る人、卵料理をする人もいる。利用者と職員は同じ食事をされながら、献立や食材、デザートについて話しながら食事を楽しんでいた。下膳は一人ひとりが運び、洗って食器乾燥機の中に入れておられた。井物や郷土料理のさつま汁等、ご飯に掛けると嫌な人へは別々の器に出されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) お一人お一人の好みにより、水分摂取の方法など記録に残し職員全員が情報を共有し支援できるように努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後の見守り・声かけ・介助にてお一人お一人にあわせた口腔ケアに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
				センター方式の活用にてトイレで排泄ができるように、排泄パターンを把握し誘導している。	
			(外部評価)		
				記録等で一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレで排泄ができるよう取り組まれている。毎朝バナナを出されており、便秘予防にも努めておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
				食事内容・水分補給への声かけ・見守りなど個々にあわせることができるように努めている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
				安全のため日中に入浴してもらうようにしていますが、可能な限り希望を取り入れている。	
			(外部評価)		
				ユニットによっては、じゃんけんが勝った利用者から、入浴の順番が決められるようになっている。入浴剤を使用する際には、浴槽の底が見えるようなものを利用され、個々の体調も見ながら、負担のないようシャワーを使ったり、体を拭いたりされることもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
				自由に生活できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 申し送りノートや投薬表などで職員全員が情報を共有し、服薬の支援をしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) お一人お一人のできることを活かして洗濯物をたたんだり、食事の盛りつけや花の水やりなど役割がもてるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や買い物などご家族の協力も得ながら支援している。	
			(外部評価) 毎日、お隣の神社の掃除やお参りをされたり、おやつや長年使用している化粧品を買いに出かけることもある。又、お一人で図書館に出かけ、読みたい本を借りたり返却される方もいる。椿神社のお祭りに、体調のいい時には毎年出かけている方がおり、入居後も職員が同行されている	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望や能力に応じて買い物などご家族の協力も得ながら支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に応じて電話・手紙のやりとりができるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				リビングの電気・テレビの音など注意しながら、季節感のある飾りを飾るように努めている。
			(外部評価)	
			居間には、風鈴を吊り、折り紙を使って夏用のレイアウトをされている。掃除も丁寧にされている。手作りの日めくりカレンダーや場所間違いを防ぐためにトイレ、浴室、居室等に目印を付けておられる。調査訪問時、午前中は自然の風を採り入れうちわを使い、午後からは冷房を入れておられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
				ソファや椅子・テーブルなど配置を考慮している。
			(外部評価)	
			ご家族の協力を得て使い慣れた家具などを使用して、ご本人さんが居心地よく過ごせるように工夫している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
				ご家族の協力を得て使い慣れた家具などを使用して、ご本人さんが居心地よく過ごせるように工夫している。
			(外部評価)	
			使い慣れたタンス、テレビ、扇風機、座布団等が持ち込まれていた。趣味の絵手紙の作品もあり、ご家族の写真も飾られていた。馴染みの化粧品、お気に入りの帽子等もあった。体調等にも合わせて部屋の環境作りをされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
				リビングには大きく日にちが理解できるようにカレンダーを飾っている。トイレの場所が理解できるように大きく張り紙をして自立できるように支援している。